

令和8年度

合否判定の方法及び基準

【文芸学部文学科日本文学専攻創作・評論コース】

対象入試制度

令和8年度 総合型選抜入学試験

1. 試験内容

書類審査、小論文、口頭試問

2. 合否判定の方法と基準

書類審査、小論文の成績及び口頭試問により、総合評価で合否判定を行っている。

口頭試問では主に以下の点を確認している。

- ・ 本学部のアドミッション・ポリシーに沿い、次のような人物像に合致しているか
 - ・ 小説、詩歌、批評などの分野にとどまらず、それを生み出す人間の言語活動や、その背景にある歴史、文化、社会、思想などに対して幅広い知的関心と探究心を持つ人。
 - ・ 文学や言語に関する知識や表現技能を修得する意欲を持ち、さらに創造的、批評的な思考や方法を身につけようとする意志と、そのために必要な基礎学力を有する人。
 - ・ 日本文学や日本語への関心を持つと同時に、それをグローバルな視点に立って考察する姿勢と意欲を持つ人。
 - ・ 言語を用いた他者とのコミュニケーションを積極的に行い、それを通して自身の見識や教養を深めていくことができる人。
- ・ 志望理由、自己PR
- ・ 勉学への取り組みの姿勢（大学での学習意欲）
- ・ 入学後の学生生活、卒業後の進路

令和8年度

合否判定の方法及び基準

【文芸学部芸術学科舞台芸術専攻】

対象入試制度

令和8年度 総合型選抜入学試験

1. 試験内容

書類審査、小論文、グループディスカッション、口頭試問

2. 合否判定の方法と基準

書類審査、小論文の成績及びグループディスカッション、口頭試問により総合評価で合否判定を行っている。口頭試問では主に以下の点を確認している。

- ・ 本学部のアドミッション・ポリシーに沿い、次のような人物像に合致しているか
 - ・ 身体を媒介とする舞台芸術表現の創造的・理論的探究に、強い関心と能力を持つ人。
 - ・ 舞台芸術を通して、人間と人間社会を深く探究しようとする関心と意欲を持つ人。
 - ・ 人間同士の関わり、コミュニケーションに意義と価値を認め、そこに積極的に参入する意欲を持つ人。
 - ・ 舞台芸術を介した社会との新たなコミュニケーションの方法を構想しようとする意欲を持つ人。
- ・ 志望理由、自己PR
- ・ 勉学への取り組みの姿勢（高校での学習状況、大学での学習意欲）
- ・ 入学後の学生生活、卒業後の進路

令和8年度

合否判定の方法及び基準

【文芸学部芸術学科造形芸術専攻】

対象入試制度

令和8年度 総合型選抜入学試験

1. 試験内容

書類審査、プレゼンテーション・質疑応答

2. 合否判定の方法と基準

書類審査及びプレゼンテーション・質疑応答により、総合評価で合否判定を行っている。

プレゼンテーション・質疑応答では主に以下の点を確認している。

- ・ 本学部のアドミッション・ポリシーに沿い、次のような人物像に合致しているか
 - ・ 造形芸術各領域の技能習得に強く関心を持つ人。
 - ・ 社会とのコミュニケーション及び国際交流に意欲を持つ人。
 - ・ 小学、中学、高校、特別支援学校の教員、造形作家、工芸作家、デザイナーを目指す人。
 - ・ 芸術を学ぶことで得た知見を活かし、社会に貢献することを目標とする人。
- ・ 志望理由、自己PR
- ・ 勉学への取り組みの姿勢（高校での学習状況、大学での学習意欲）
- ・ 入学後の学生生活、卒業後の進路

令和8年度

合否判定の方法及び基準

【文芸学部文化・歴史学科】

対象入試制度

令和8年度 文化活動推薦入学試験

令和8年度 総合型選抜入学試験

1. 試験内容

書類審査、小論文、口頭試問

2. 合否判定の方法と基準

書類審査、小論文の成績及び口頭試問により、総合評価で合否判定を行っている。

口頭試問では主に以下の点を確認している。

- ・ 本学部のアドミッション・ポリシーに沿い、次のような人物像に合致しているか
 - ・ 日本から世界まで、古代から現在まで、地域や時代にかかわらず人間の営みや思想、楽しみや争い、社会の変化や盛衰について自分なりに関心を持ち、それを深く、かつ幅広く学ぶ意欲を持つ人
 - ・ 様々な文化や歴史上のテーマについて学んで発信する上での基礎的学力、特に文献・資料の読解力と文章表現力、最低限の語学力、批判的な思考力を持つ人
 - ・ 人との交流や現場での発見を通して学びを深められるような、アクティブな学習姿勢を持つ人
 - ・ 学んだことを活かして地域や社会にかかわる上での、柔軟な思考力や積極的な発信力の素地を有する人
- ・ 志望理由、自己PR
- ・ 勉学への取り組みの姿勢（高校での学習状況、大学での学習意欲）
- ・ 入学後の学生生活、卒業後の進路

令和8年度

合否判定の方法及び基準

【文芸学部文化デザイン学科】

対象入試制度

令和8年度 総合型選抜入学試験

1. 試験内容

書類審査、プレゼンテーション・質疑応答、グループディスカッション

2. 合否判定の方法と基準

書類審査、プレゼンテーション・質疑応答及びグループディスカッションにより、総合評価で合否判定を行っている。

プレゼンテーション・質疑応答及びグループディスカッションでは主に以下の点を確認している。

- ・ 本学部のアドミッション・ポリシーに沿い、次のような人物像に合致しているか
 - ・ 人間の広範な感性的・知性的な学問的実践的成果を理論的、歴史的に探求することに関心と能力を持つ人。
 - ・ 人間の豊かな文化的・芸術的活動を社会につなげて活かすシステムをデザイン/構想・創造し、プロデュース/実践することに関心と能力を持つ人。
 - ・ 新しい商品やシステムの企画開発、アート・マネジメント、アート・プロデュース、まちづくり、地域イベント企画、地方創生、文化施設の運営などの仕事に就くことに関心と能力を持つ人。
 - ・ 独立した一個の社会人としての倫理感を持ち、デザインやプロデュースという行為を通じて社会に貢献しようとする高い意識と責任感を持つ人。
 - ・ 幅広く積極的にコミュニケーションを図り、主体性を保ちつつも他者と協調してチームワークを成し遂げる意欲と能力を持つ人。
- ・ 志望理由、自己PR
- ・ 勉学への取り組みの姿勢（高校での学習状況、大学での学習意欲）
- ・ 入学後の学生生活、卒業後の進路